

【目指す学校像】

- 子どもにとって：『勉強がわかるから、楽しい学校』
- 保護者にとって：『信頼できるから、協力したい学校』
- 地域にとって：『活動が見えるから、応援したい学校』
- 教職員にとって：『子どもや仲間がいるから、働きたい学校』



《向洋っ子3あ運動+1（プラスワン）》

- ①自然なあいさつ ②きちんとあと片づけ ③最後まであきらめない ④安全安心・温かな心

「数学のセンスを高める九九の覚え方」

もうすぐで令和7年度が終わります。今、学校では「6年生を送る会」も終わり、それぞれの学年の学習のまとめにがんばっています。今回は恥ずかしながら、私が小学校2年生の時の苦い思い出を紹介します。

2年生の学習で「九九」があります。私はどうしても七の段を覚えられませんでした。理由は単純に「丸暗記ができない」からです。何回も口に出して練習するのが苦手だったのです。ある時家で、「なんで九九を覚えなならんが」と愚痴ると、「そんなん、覚えんでも足し算すればいいやろ」と言われ、ストンと腹落ちした記憶があります。

昨年度の備忘録に、出典は書いていないのですが、コピーを下に貼り付けましたのでご覧ください。

「数学のセンスを高める九九の覚え方」
 (東大生は、「九九」を足し算と引き算の延長線上にあるもの)
 ex. $7 \times 8 = ?$ でも $7 \times 7 = 49$ がわかれば、 $49 + 7 = 56$
 基本的に「かけ算」とは「足し算」の省略形
 「 $7+7+7+7+7+7+7+7 = 56$ 」 → 「 $7 \times 8 = 56$ 」
 7を8回足す ⇒ 7が8分 ⇒ 7の8倍

ex. 7×9 を忘れたら... 7×10 なら7に0をつけて「70」なので
 7×9 はそこから7を引いた数だから「 $70 - 7 = 63$ 」

《応用編1》Q. 133は7で割れるか?
 △ 133を7で実際に割り、してみる。
 ○ 133が仮に7の倍数だとしたら、「 $7+7+7 \dots 7 = 133$ 」
 では133に7を足してみよと140。140は7の倍数。
 $140 = 133 + 7$ なので、140が7の倍数ならば、133も7の倍数。
 つまり、133は、7で割れる。
 ③ 「0で割れるか」 → 「0の倍数に「7」が、と考え、数に足し引いたりして、キリのいい数(例えば一の位が0に作る数)を作ってみる。
 ・「2086」は7で割り切れるか?
 → $2086 + 7 + 7 = 2100$, $21 = 7 \times 3$ だから 2100も7の倍数なので 2086は、7で割り切れる。

《応用編2》大学入試レベル Q. 2587は素数か、どうか?
 △ 2587に7を足し引きしてもキリのいい数にならない。
 ○ 2587に13(素数)を足してみよと、2600というキリのいい数になり、
 $13 \times 2 = 26$ で13の倍数。ということは、2587は素数ではなく、13で割れる数とわかる。

これは東大生の考え方で、ポイントは九九を「足し算と引き算の延長線上にあるもの」ととらえているところです。

例が2つ書いてありますが、上が足し算の考え、下が引き算の考えです。私には、この引き算の考え方がありませんでした。

次の《応用編1》ですが、ポイントは、④に書いてありますが、「0で割れるか」を「0の倍数になるか」と発想を変えて足し算の考えで解いています。更にキリのいい数にするのがミソですね!

最後に《応用編2》は、日常生活には全く役に立ちませんが、東大生ってこんな風に考えるのか・・・とだけ思っただけだと思います。

今回、私のお伝えしたいことは、学習は「原理・原則をしっかりと理解すれば、応用できる。」ということ。そして、どのように応用できるかを考えるのが、本来の学習だと思うのですが・・・。

6年生を送る会 2/19

今年度の6年生を送る会もランチルームでアットホームに行われました。先生に言われるだけでなく、自分たちで考えながら出し物に取り組んでいたことが伝わってきました。始まる前は緊張している様子が伝わってきましたが、始まってしまえば大きな声でがんばっていました。むしろ、楽しんでいるようにさえ見えました。この経験を糧にして、人前で大きな声で話す力も高めていくことを期待しています。

6年生を送る会 児童の感想より

- ・きんちょうしたけど大きなこえではっぴょうをすることができてうれしかったです。それに、ぶたいにでてきたとき、はずかしかったけど、おもっていたよりもたのしくできてよかったです。
- ・わたしは、6年生をおくるかいで、れんしゅうしてきたなかでいちばんうまくできたとおもったし、3・4年生、5・6年生の出しものもおもしろかったとおもいます。とくにすごいとおもったのは、おおすみ先生としゅんくんのけんだましようぶです。
- ・出し物でみんなも全力でえんぎしていたので、自分もうれしかったし、6年生への「ありがとう」という気持ちをみんなでつたえられたので、すごくすっきりしました。次は卒業式で6年生をみんなで送りたいです。
- ・心にのこったことは5・6年生の「向洋小あるある」です。なぜかという、声が聞き取りやすかったし、あるあるの再現度がすごかったからです。自分たちの出し物もれんしゅうより上手くできたし、楽しかったです。うれしかったです。
- ・私は、6年生を送る会をして、自分のセリフを大きい声でいえたことがうれしかったです。じぶんがおもしろいと思った学年は1・2年生です。めんたまが4つあってとびらのすき間からのぞいているのがおもしろかったです。



サッカー教室 2/25

日本サッカー協会から元サッカー日本代表の田中隼磨さん、徳永悠平さんが来校されました。サッカーを通して楽しく運動することができました。田中さんはこのように言っていました。「やるか、やるか。ではなく、やるか、やるか。」と。とにかく挑戦することが大事だと思いました。サッカーも勉強も同じです。



動画やゲームの時間は大丈夫ですか？

学校アンケートの「ゲームや動画視聴時間など、家庭で決めた約束ごとを守っている。」という質問へのポジティブ回答は、児童が8割以上であったのに対し、保護者は5割未満の回答でした。子どもはルールを守っていると思っていても、実際は守れていないということが多くあるようです。

まずは、家庭のルールを話し合って確認し、必要ならルールを再設定してください。厳しすぎるルールでは、守る意欲も下がります。話し合っただけでルールを確認し、しっかり守っていくことが大事だと思います。

学校としては、

- ・9時以降はスマホ、タブレットなどを片付ける。
- ・連続ではなく、30分以上の休憩時間をとる。
- ・宿題が終わってから遊ぶ。

など、分かりやすいルールをお勧めします。

健康第一です。視力の低下や睡眠時間が短くなること、依存症など、恐ろしいデメリットがあることを共有し、「自分の心と体を守るためのルール」となるように、子ども自身が考えることが大切だと思います。



◇3・4月の行事予定◇

- 2日(月) 年長さんを迎える会
- 3日(火) ふれあいタイム
- 4日(水) 計算コンテスト
- 6日(金) クラブ(最終)
- 10日(火) ノーテレビ・ノーゲームデー
- 16日(月) 第18回卒業証書授与式
- 23日(月) 校外児童会
- 24日(火) 修了式、離任式
※離任式には6年生登校
- 25日(水) 春休みスタート
トキ共生宣言意見交換会
- 4月6日(月) 入学式準備
- 7日(火) 始業式、新任式、入学式

